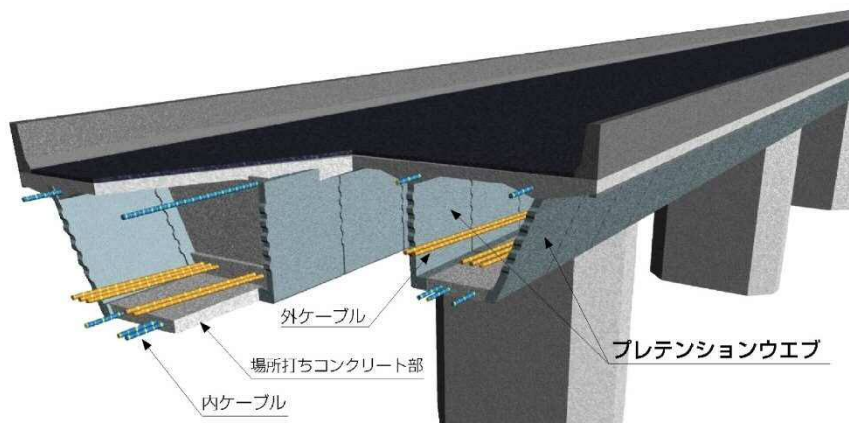


概要

summary

プレテンション・プレキャストウエブ橋は、工場で製作したプレテンション・プレキャスト部材のウエブ部を現地で架設後、上下床版を場所打ちし、プレストレスを与えて一体化させることを特徴とした橋梁です。ウエブ部をプレテンション・プレキャスト化することで、軽量化による構造上の合理化や現場施工の省力化、さらには品質の向上にもつながり、PC橋のコスト縮減と高耐久性を実現します。



特長

● 軽 量 化

プレテンション・プレキャストウエブを使用することで、高いせん断抵抗性が確保され、ウエブ厚さを薄くできることにより主桁自重の軽減が図れます。

● 低 コ ス ト 化

主桁自重の軽減により、架設機材や下部構造の規模縮小につながり、橋梁建設全体での低コスト化が図れます。

● 耐 久 性 の 向 上

ウエブを品質管理の行き届いた工場で製作することにより、高品質化および耐久性の向上が図れます。

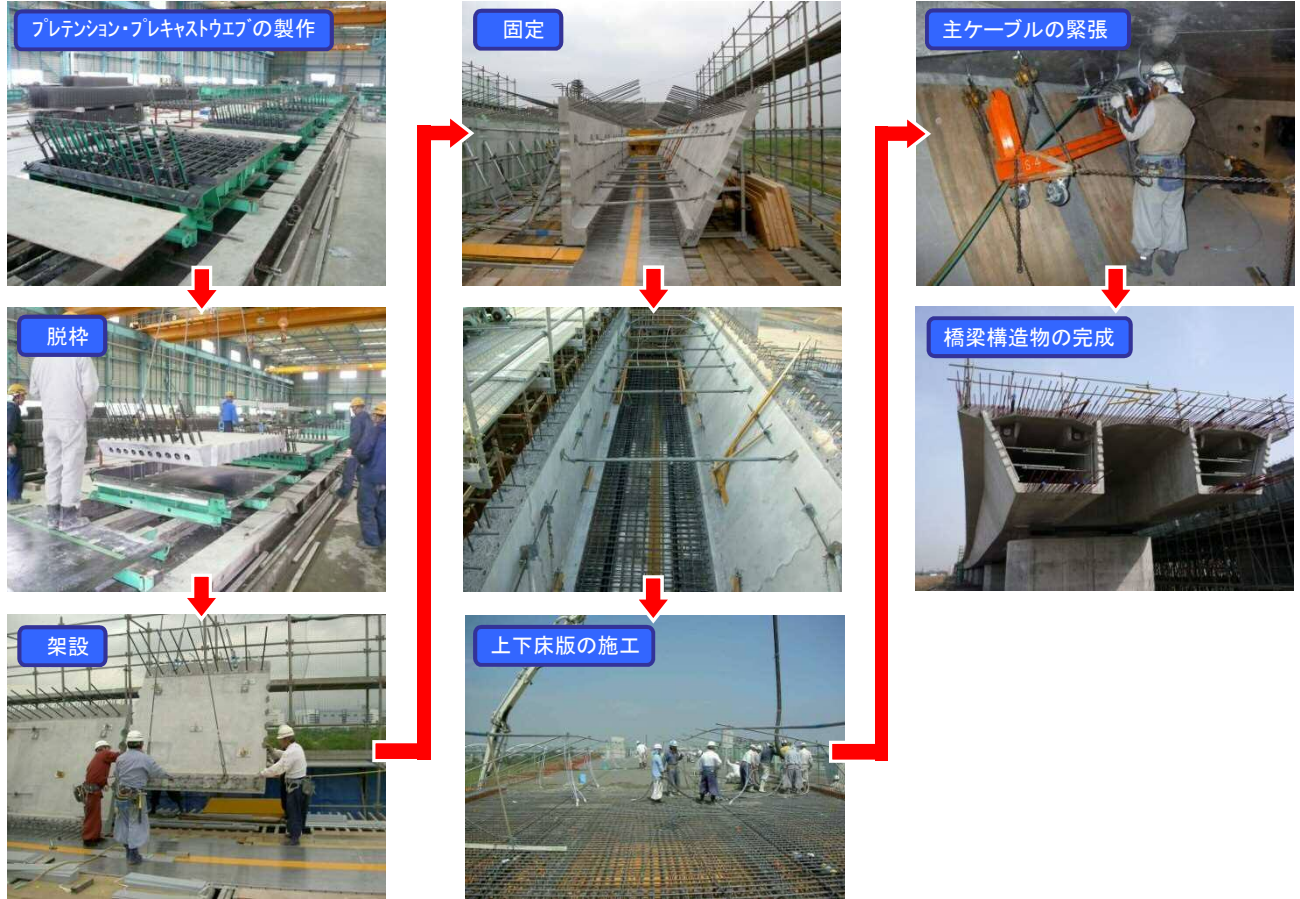
● 現 場 施 工 の 省 力 化

ウエブを施工するための型枠作業やコンクリート打設が不要となります。またウエブに鉛直鋼材を配置しているポストテンション方式に比べ、グラウト作業が不要となるため、大幅な現場施工の省力化が図れます。

● 施工

execution

一般的な施工手順を以下に示します。



プレテンション・プレキャストウエブ橋

● 実績

achievements

中新田高架橋 (中日本高速道路(株)、2008年)



本所川橋 (西日本高速道路(株)、2011年)



中野高架橋 (中日本高速道路(株)、2011年)

